集まれ！消防自動車！

～乗ってワクワク　学んで安心！～





開催日時：１１月１４日（土）

１０時００分～１４時００分

開催場所：しながわ中央公園

○実施内容：消防車両乗車体験、初期消火体験等

※荒天時または荒天が予想される場合には中止とさせていただきます。

救急車の適時・適切な利用のお願い

病院？救急車？迷ったら…



東京消防庁救急相談センター

#7119

こちらからもつながります 03-3212-2323

※ご利用には通常の通信料がかかります。

東京版救急受診ガイド

緊急度の判定から医療機関案内までワンストップでスムーズに

- 症状からAIを介して緊急度を判断
- 受信可能な医療機関を案内
- GPSで医療機関までのルートを案内

お問合せ先



荏原消防署

ホームページもご覧ください！！

荏原消防署	TEL 03-3786-0119
戸越出張所	TEL 03-3785-0119
小山出張所	TEL 03-3781-0119
旗の台出張所	TEL 03-3783-0119

荏原第一～荏原第五地区

セーフティ荏原
VOL. 348
令和8年10月

秋の火災予防運動

令和8年11月9日(月)～15日(日)









火災原因ワースト3

※令和８年9月末時点の荏原消防署管内速報値

発行
荏原防火防災協会
荏原災害予防協会
荏原防火管理研究会
荏原防災設備業等連絡協議会
荏原消防団

回覧

リチウムイオン電池火災が急増中！



動画はこちら

⚠ こんなときは危険 ⚠ 今すぐチェック！

- □ 熱のこもりやすい場所で使用している
- □ 膨らみ、変形している
- □ 過去に落下させたことがある
- □ 充電中や使用中に発熱することがある
- □ 充電できないなどの不具合がある





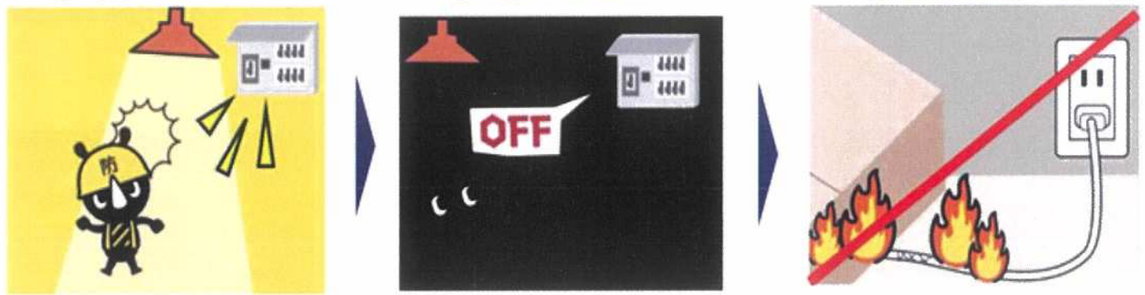
廃棄方法はこちら

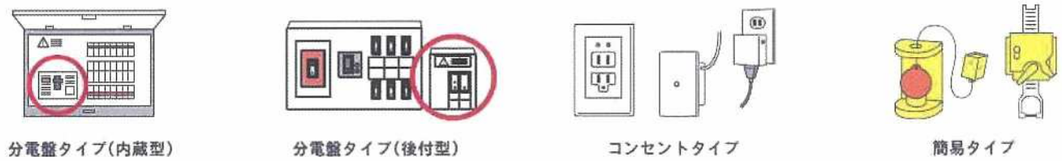
品川区ではモバイルバッテリーなどの充電式電池を**月２回の陶器・ガラス・金属ごみの日**に出すことが可能です。
※別袋に入れて**充電池**と記載



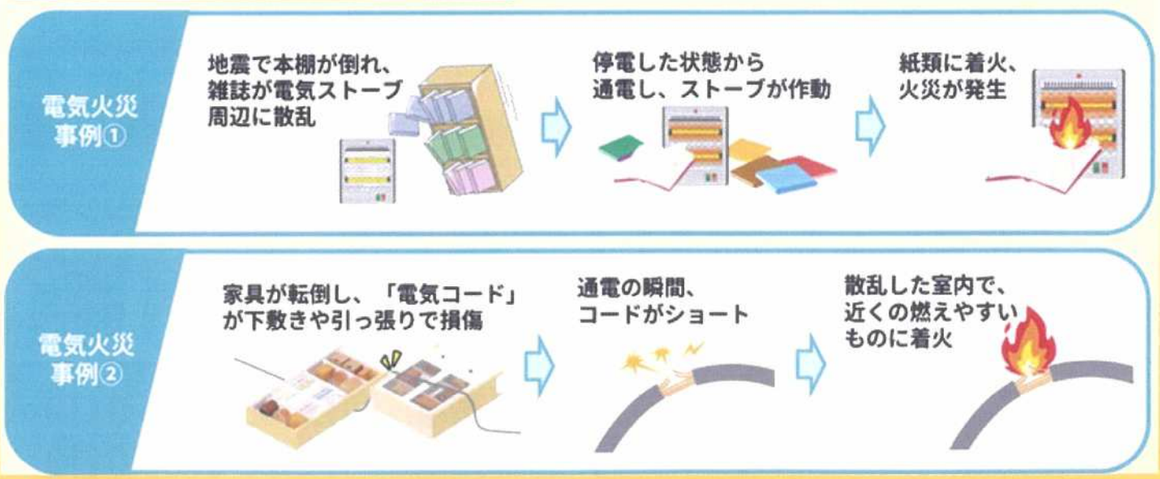
グラぴたスイッチって知っていますか？

地震の強い揺れを感知して自動で電気を止めて火災を防ぐ「感震ブレーカー」のことを、グラぴたスイッチと呼んでいます。





地震による電気火災の発生プロセス



グラぴたスイッチを設置して、出火による被害を防ぎましょう

令和8年度

品川区からのお知らせ

八潮地区除く１２地区

品川区感震ブレーカー設置推進事業補助金交付申請について

感震ブレーカーの設置費用を一部補助します！

感震ブレーカーとは？



規定値以上の揺れを感知したときに、**ブレーカーを自動的に止める装置**だよ。不在時やブレーカーを落とさずに避難すると、**電気が復旧した時に壊れた電気製品から火災が発生する可能性**があるよ。

電気製品が転倒していないか等を確認してからブレーカーを戻すことができるから、**破損や転倒した電気製品に通電することによる火災（通電火災）を防ぐ**ことができるよ！



申し込み方法

希望される方は、品川区電子申請サービス、または裏面の「品川区感震ブレーカー設置推進事業補助受付書」に記載の上、お申し込みください。

なお、予算上限に達した場合や機器の調達が難しい場合などは、先着順をもって受付を終了するため、お早めに申し込みください。

手続きの流れ

分電盤タイプ

設置は組合が実施します

＜木造住宅＞

申請者 ❶受付書を提出（添付書類もあわせて提出）
↓
区 ❷受領後、電気工事工業組合（指定業者）へ共有
↓
組合 ❸申請者へ連絡し、訪問日程調整、見積書提示（原則訪問は１回限りです）
↓
申請者 ❹申請書等提出（組合より区へ渡す場合があります）
↓
区 ❺交付決定（申請者へ決定通知を送付）
↓
組合 ❻工事実施（本人都合のキャンセルは認められません）
↓
申請者 ❼代金支払い（**自己負担額を現金で組合へお支払いください**）

設置の依頼等はご自身で行っていただきます

＜非木造住宅＞

申請者 ❶受付書を提出（添付書類もあわせて提出）
↓
区 ❷受領後、申請書類の案内を送付
↓
申請者 ❸申請書等提出
↓
区 ❹交付決定（申請者へ決定通知を送付）
↓
申請者 ❺ご自身でお近くの電気工事店に設置を依頼
設置後、実績報告書および補助金請求書提出
↓
区 ❻補助金支払い
↓
申請者 ❼補助金受領

アース付コンセント型タイプ

取り付けをご希望の場合はご相談ください

申請者 ❶受付書を提出
↓
区 ❷受領後、申請書類の案内を送付
↓
申請者 ❸申請書等提出
↓
区 ❹交付決定（申請者へ決定通知を送付）
↓
指定業者 ❺感震ブレーカー配送（返品は受け付けられません）
↓
申請者 ❻実績報告書を提出
↓
区 ❼提出が確認できない場合は、個別に確認いたします

回覧													

本パンフレットを個別に必要な方は、しながわ防災体験館（TEL:5742-9098）へお問い合わせください。

区内の既設住宅に、**設置費用の一部補助**を行っています。

※補助対象は「分電盤（内蔵型・接続型）」と「アース付コンセント型」です。

こちらに記載のない簡易タイプ（おもり玉、バネ式）や接続したコンセントの電力供給のみを遮断するコンセントタイプは、補助対象外です。

感震（かんしん）ブレーカーの種類と主な特徴

タイプ	一括遮断 分電盤（内蔵型・接続型）					一括遮断 アース付きコンセント型
概要	分電盤に内蔵または接続されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落とす。					アース付コンセントに差し込むだけで、震度５強相当の地震波を感知するとブレーカーを落とす。
遮断範囲	住宅内**すべて**の電気供給 家全体					住宅内**すべて**の電気供給 家全体
費用（工事費含む）	【内蔵型】10万円前後  ※分電盤の種類によっては、取付できない場合があります。 【接続型】3～4万円程度  ※壁に穴を開けて取り付けを行う場合があります。 ※太陽光パネル、オール電化等を設置されている方は、分電盤の交換はできません。アース付きコンセント型をご検討ください。					１万５千円程度※ ※アース配線がない場合は、別途工事が必要となります。 
地区区分	重点地区外		重点地区内（大井７丁目・西大井３丁目にお住まいの方）		重点地区外	区内全域
住宅構造	木造				非木造	木造・非木造問わない
世帯区分	一般世帯	特例世帯	一般世帯	特例世帯	一般世帯／特例世帯	一般・特例世帯問わない
区補助金（工事費含む）	機器費用および設置費用の5/6（上限８万円）	機器費用および設置費用の7/8（上限10万円）	機器費用および設置費用の5/6（上限８万円）	機器費用および設置費用の7/8（上限10万円）	●一般世帯 機器費用および設置費用の5/6（上限８万円） ●特例世帯 機器費用および設置費用の7/8（上限10万円）	機器費用（取付費用含む）の**全額**（上限３万円）
都補助金	区補助金に上乗せ（上限４万円）					
国補助金			区補助金に上乗せ（上限３万円）			
予定件数※	200件				若干数	120件

※件数については、実施状況により、前後する可能性があります。

※一般世帯、特例世帯について

一般世帯	品川区に居住している世帯	**特例世帯**	品川区に居住している世帯のうち (1) 65歳以上の者が属する世帯 (2) 1～2級（度）に該当する障害者が属する世帯 (3) 要介護3～5の者が属する世帯

〈事業受付終了日〉
令和9年1月29日（金）



FAX送信方向

しながわ防災体験館 行

お申し込みFAX 5742-9098

品川区感震ブレーカー設置推進事業補助 受付書

●品川区電子申請サービス、または本受付書を郵送またはFAXにて送付ください。
●以下の項目を確認いただき、必ず申請者（もしくは申請者の同意を得ている者[親族等]）が記載のうえ、お申込みください。

電子申請はコチラ

申請区分	□ 分電盤タイプ　□ アース付きコンセント型
住宅区分	□ 木造住宅　□ 非木造住宅
世帯	□ 一般世帯　□ 特例世帯　※世帯の詳細は、裏面の下部をご参照ください。
フリガナ	
氏名	
住所	〒　－ 品川区
電話番号等	《自　宅》 《携帯電話》 《ＦＡＸ》

※その他　申請者の同意を得ている親族等が申請する場合は、その氏名・電話番号等を記入欄の余白に記載ください。

チェック項目（下記項目に当てはまるかご確認のうえ、チェックを入れてください）	
共通	□ 今お住まいの家に取り付ける。
	□ 下記に記載の注意事項を読み、内容について同意する。
	□ 本記載の内容について、指定業者に情報提供することに同意する。 ※記載内容については、本事業運営についてのみ利用し、当該実施機関以外の者への提供は一切いたしません。
分電盤タイプのみ	□ （木造住宅に居住している場合）下記❶に記載の書類の写しを添付している。
	□ （賃借人の場合）申請するにあたって所有者および管理者の承諾を得ていること。
	□ （特例世帯の場合）下記❷に記載の証明書類の写しを添付している。

注意事項

❶ 分電盤タイプを「木造住宅」の区分で補助を受けるには、木造住宅であることを確認できる**公的書類の写し**が必要となります。確認できない場合は「非木造住宅」の区分となり、**自己負担が発生する場合があります**のでご注意ください。
※以下の書類のいずれか一つをご用意ください。（一部有料）

書類名	窓口
固定資産税・都市計画税納税通知書（名寄帳も可）	品川区都税事務所（本庁舎２階）
建築計画概要書　または　台帳記載事項証明書	品川区都市環境部建築課（本庁舎６階）
建物の登記事項証明書	東京法務局品川出張所（本庁舎１階）

❷「特例世帯」に該当する場合は、証明書類（障害者手帳・介護保険証の写し等）の提出が必要です（65歳以上の方がいる世帯を除く）。
❸ 賃借人は、**必ず所有者および管理者の承諾を得たうえでお申し込みください。取り付けたことによる責任等（現状復帰等）は申請者に帰属します。**
❹ 区にて本受付書受領後、**7日以内にご連絡が取れない場合はキャンセル扱い**となります。
❺ 感震ブレーカーを取り付け、災害時住宅に被害が発生しても区はその責任を負いません。
❻ 感震ブレーカー設置工事時には、数時間程度、住宅内すべての電気が利用できなくなります。
❼ 感震ブレーカーの設置に伴い家電製品等が故障した場合でも、区および設置事業者はその責任を負いません。

申込先・お問い合わせについて

しながわ防災体験館（品川区役所第二庁舎２階）
〒140-8715 品川区広町二丁目１番36号
TEL／FAX：5742-9098

品川区 防災まちづくり部 防災課
TEL：5742-7134 ／ FAX：3777-1181

感震ブレーカーの設置について

東京都電気工事工業組合 品川・目黒地区本部
〒142-0054 品川区西中延一丁目7番23号
TEL：3785-0151 ／ FAX：3785-0152

防火のつどい

日　時　令和８年　11月13日（金）

第1部　火災予防功労者表彰式　午後1時30分～午後2時20分

第2部　さわ あさみ 澤　麻美氏　講演会　午後2時30分～午後3時30分

演題　「激甚化する近年の気象災害」

場　所　ゲートシティホール　品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎地下1階

※ 入場は無料です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。
なお、時間は多少前後することがあります。満席の場合は入場を制限させて頂きますので予めご了承ください。

経歴

千葉県出身。立正大学卒業後、制作会社や旅行本のアシスタントを経験した後、気象の世界へ。福岡でのテレビ出演やディレクター、MCなど幅広く経験。現在は、日本テレビ「news zero」の臨時解説や、テレビ朝日「サタデーステーション」にレギュラーで出演中。平成23年度「宝くじ幸運の女神」



東京消防庁 公式アプリ は、
消防署が開催するイベントのお知らせなどを受け取れるほか、応急手当や火災予防などを学べるコンテンツが充実！
ぜひご利用ください！
ダウンロードはこちらから！



病院？救急車？迷ったら　#7119
24時間365日対応の相談できる電話窓口へ
こちらからもつながります　☎03-3212-2323　☎042-521-2323

東京版救急受診ガイドもご利用ください！
病気やけがの緊急度、医療機関での受診の必要性、受診する科目などが確認できます。



消防団員募集！
品川消防署消防団担当
TEL　03－3474－0119

■消防に関するお問合せ■

品　川　消　防　署
TEL：０３－３４７４－０１１９

品川消防署ホームページ（右のQRコードからアクセス）
http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-sinagawa/

協力：品川防火防災協会　品川災害予防協会　品川危険物安全協会　品川防火管理研究会 品川消防団　品川女性防火の会　監修：品川消防署

品川第一、品川第二、大崎第一、大崎第二地区



消防しながわ

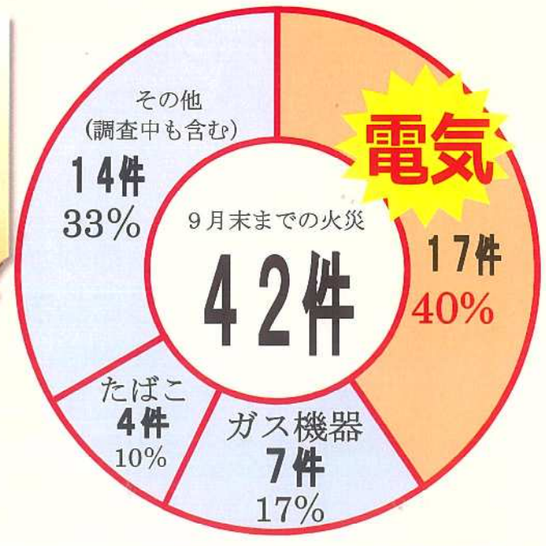
Shinagawa Fire Station　No.216　2026.11

秋の火災予防運動

11月9日(月)～15日(日)

電気火災増加中！

本年に入り、品川消防署管内で9月末日までに発生した火災は**42件**です。そのうち**電気に関係する火災**が17件発生、**全体の40%**を占めており、電気火災の中でも**モバイルバッテリーからの火災が7件**ありました。電気火災を防ぐためにご家庭や職場で是非対策を！⇒中面をご覧ください



令和8年度東京消防庁火災予防標語「見えぬ火を　見抜く心で　守る家」
作者　佐藤　環さん（中野区在学）

回覧													

電気火災を防ぐチェックポイント！！

1　コードが家具などの**下敷き**になっていませんか　□
2　コードを**束ねて**使用していませんか　□
3　プラグ、コンセントは**定期的に掃除**していますか　□
4　タップは決められた**容量内で使用**していますか　□
5　使っていないプラグは**抜いていますか**　□

【出火事例１】
コンセントの差し込み口から出火したもの。家庭内のコンセントからでも出火危険があります。コンセントの清掃を心掛けましょう。



【対策】
- コードが踏まれて負荷がかかっている状態は、断線の原因になります。負荷をかけないようにしましょう。
- コードを束ねての使用は、発熱及びコードの溶融の原因になります。束ねないで使用しましょう。
- 万が一に備え、消火器を設置しましょう。



こちらも併せて実施しましょう！！



リチウムイオン電池火災を防ぐチェックポイント

1　**膨らんだり、変形**していませんか　□
2　**過去に落下させて大きな衝撃を与えて**いませんか　□
3　**充電中や使用中に発熱**していませんか　□
4　**充電できない**などの不具合はありませんか　□
5　**熱のこもりやすい場所**で使用していませんか　□

【出火事例２】
様々な製品で使用されているリチウムイオン電池ですが、落下などの強い衝撃や取り扱い方法を誤ると出火する可能性があります。



引用元　You Tube 東京消防庁公式チャンネル

【対策】
- 経年劣化や高温による膨張、変形、けむりや異臭のあるもの、発熱・充電できない等、異常があるものはすぐに使用を中止し、それぞれの自治体の回収ルールに必ず従って排出しましょう。回収ルールに従わず、可燃物や不燃物のごみと一緒に捨てることにより塵芥車やごみ処理工場の火災に至った事例もあります。

リチウムイオン電池搭載電気製品についての詳しい対策はこちらのＱＲコードから

